

協議会ニュース 124号

愛知県自然観察指導員連絡協議会 2009.5



ボタン…山田絹子（知多支部）

総会報告	P2
講演 目から鱗の植物観察入門 吉田雅紀	P3
今年度の観察会・研修会	P4
観察会の保険 布目均	P5
支部総会報告	P6
会員のページ		
総会&講演会に参加して 竹内秀代	P8
指導員の今までと 近藤記巳子	P8
これからを考える 神戸敦	P9
東三河の野生哺乳類	P10
理事会記録	P11
事務局だより	P12
編集部	

平成 21 年度通常総会

平成 21 年 3 月 20 日、なごやボランティア・NPO センター研修室において平成 21 年度の総会が開催されました。総会への出席者は、開始時 32 名、延べ 40 名でした。

平成 20 年度役員・理事の紹介、松尾会長の挨拶に続き、総会の議長に降幡副会長を選出し、議案の審議が進められました。

■第 1 号議案 平成 20 年度事業報告

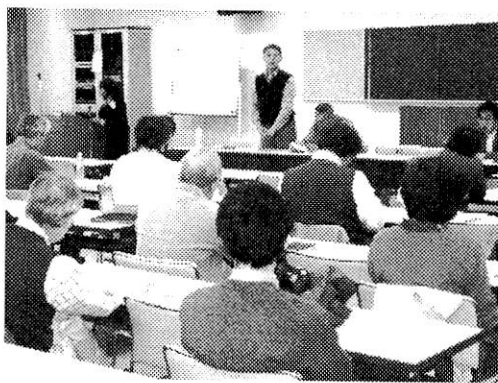
浅井事務局長から総会資料にもとづき事業報告がなされ、承認されました。

■第 2 号議案 平成 20 年度決算・監査報告

石田会計から総会資料にもとづき決算報告が、山下・榊原監事から適正に処理されていたという監査報告がなされ、承認されました。

■第 3 号議案 平成 21 年度事業計画

浅井事務局長から総会資料に基づき事業計画が説明され、承認されました。説明の中で、総会資料で未定となっていた西三河支部の研修会が 9 月 26 日に決まったこと、指導員講習会の開催見込み（10 月 16 日～18 日、岡崎市の桑谷山荘）が紹介されました。また、21 年度から自然観察会に掛ける保険が変更されることも説明されました。（※保険についての詳細は p5 をご覧ください。）



■第 4 号議案 平成 21 年度予算案

浅井事務局長から総会資料に基づき予算案が説明され、承認されました。説明の中で、機関誌の発行を年 4 回とするなど経費の縮減を図り、会費を 2000 円に値下げし、前年度より増えた次期繰越金については 30 周年事業に備えるなど有効に活用することが紹介されました。

■会の愛称

「愛知県自然観察指導員連絡協議会」という正式名称が長いので愛称を決めることが前回の総会からの懸案となっており、今回、議案書掲載の 4 案（愛知県自然観察会、愛知[あいち]自然観察会、愛知自然観察連絡会、NACS 愛知[あいち]）を対象に挙手により採決しました。その結果、「あいち自然観察会」が愛称に決まりました。

総会がスムーズに進行し、講演会まで時間があつたので、意見交換などが行われました。

- B5 判で作成している資料や機関誌を A4 判に変更してはどうかという意見があり、事務局と編集担当で文字サイズ、情報量、コストなどを検討することとなりました。なお、ニュースをメールで配信し、自分で好みのサイズに印刷するという方法もあると紹介されました。
- 生物多様性条約市民ネットワークの活動が紹介されました。市民ネットのメーリングリストへは、cbdshimin@hotmail.co.jp 宛に登録希望のメールを出せば登録できます。
- 協議会は来年 30 周年を迎えるので、記念事業の実施に向けて今年度から体制の整備など準備を進めたい旨の表明がありました。

（記録：齋竹）

岐阜大学 川窪伸光 先生

～～目から鱗の植物観察入門～～

尾張支部 吉田 雅紀



川窪伸光 先生

川窪先生は、フィールドをこよなく愛し、観察力を売り物 としている研究者です。

○先生がおっしゃっていること・・・

- ・自然観察者のできること、それは、自分が「自然の一部として生きている」という感動を人に伝えること。
- ・そして、指導員自身が感動者であってこそ、素直な好奇心に基づいて観察を深め、人にも感動を伝えることができる。

また、川窪先生は自然の中では、「見る」「聴く」「嗅ぐ」「味わう」「触れる」の“感察”モードを駆使し、行動は、奇人・変人で結構！とおっしゃっています。ここで徹底しないと、自然相手の研究はできないのだと実感し、自分を振り返ってみると、とても恥ずかしくなるような行動でしかなかったなど、多々反省してしまいました。

○観察力とは・・・

- ・日常生活から離れる！ なりふり構わず、奇人で結構。
- ・よく考える！ そして、観察結果を丁寧に整理する。

○このような観察力を持った先生の活動の一例

- ・インターバル・微速度撮影

「静なる草木たちの躍動」というタイトルで、ヤブヘビイチゴ、オオイヌノフグリなどの開花の経過を映像として撮り、その不思議さを HP で紹介している。（下記参照）撮影の苦労話として、自宅の庭にデジタルカメラを幾つも設置して、何日も自動で撮影し続ける。庭なのでカメラを引っかけて倒したり、天候に左右されたりトラブルもつきもので、カメラが壊れたこともあったとか。それにも増して根気が必要。

- ・高速度撮影

チョウ、ハチの飛行動画。飛行動画を撮るために、チョウやハチを何回も追いかけているうちに飛行パターンを体得し、撮影に成功。

○観察力を実践する実習

イチゴ、カブ、キャベツなど 19 種類の作物を小さく切ってそのものの形がわからないようにして、その小さな作物の臭い、味などを確かめて、同じ「科」に分けるゲームを実施(科とは、アブラナ科、キク科、バラ科など)。

人間の味覚は結構当てにならないもので、大変難しかったが、時々この様なゲームを通して、自分の味覚を磨くこともいいかなと思いました。

■参照：川窪伸光氏 HP 岐阜大学 応用生物科学部 生物環境科学講座 生態環境学系
<http://www1.gifu-u.ac.jp/~kawakubo/top.htm>

あいちの自然観察会

後援：愛知県、愛知県教育委員会

日 時	テーマ	場 所	集合場所	問合せ先など
5月9日(土) 10:00～15:00	茶臼山高原の植生	茶臼山高原	リフト乗り場上の駐車場	奥三河支部：山田由乃 TEL：0536-32-2702
6月7日(日) 9:30～12:00	海辺の生き物観察	知多郡美浜町富具崎海岸	富具崎港駐車場	知多支部：森田博文 TEL：0569-87-0725 タモ・バケツ持参、サンダル禁止
6月14日(日) 10:00～12:00	樹木博士になろう	名古屋市昭和区鶴舞公園	鶴舞公園グリーンプラザ前	名古屋支部：滝田久憲 TEL：052-782-2663
7月11日(土) 9:00～12:00	湿地の植物、ハッチョウトンボ	岡崎市北山湿地	湿地入口駐車場	西三河支部：名倉正志 TEL：0564-24-1587
8月2日(日) 9:30～12:00	真夏の森で自然を感じ、気持ちのよい汗をかこう	田原市滝頭公園	滝頭公園駐車場	NPO東三河自然観察会事務局 TEL：0532-45-1335 参加費 大人100円(資料代)
10月31日(土) 9:30～13:00	森の恵みを楽しもう	春日井市少年自然の家周辺(築水の森)	少年自然の家三角駐車場(多目的広場入口付近)	尾張支部 樋口祐子 TEL：0568-85-0379 雨天実施(観察会と草木染め・鍋物)

「あいちの自然観察会」は各支部で「ふるさと親子自然観察会」に代わるものを実施するだけではなく、支部間交流と他支部の指導員間の学び合い・助け合いを目的とするものです。時代の流れと共に疎遠となった指導員同士がもう一度交流できるようになることや旧交を温められることを願っています。(担当理事 山田)

研修会

日 時	テーマ	場 所	集合場所	問合せ先
6月28日(日) 13:00～16:30	生物多様性について	春日井市少年自然の家周辺	少年自然の家三角駐車場(多目的広場入口付近)	尾張支部 松尾初 TEL：0568-32-5069
8月30日(日) 10:00～15:00	秋の溪流の植物	瑞浪市竜吟の滝	竜吟の滝駐車場	名古屋支部 萩原 TEL：052-811-6477
9月5日(土) 9:30～12:00	布土川の生き物観察	美浜町布土川	布土公民館	知多支部 斉藤 TEL：0569-82-3922
9月5日(土) 9:00～16:00	磯の生き物観察	御前崎	岩屋緑地駐車場	東三河支部 天野 TEL：0533-87-6012
9月26日(土) 10:00～15:00	自然観察の方法	岡崎市桑谷山荘とその周辺	桑谷山荘	西三河支部 三田孝 TEL：0566-75-4059
11月15日(日) 10:00～15:00	秋の弁当山公園	長野県阿南町弁当山	ジョッパングランド・ナベカ駐車場(阿南町西條)	奥三河支部 山田 TEL：0536-32-2702

自然観察会のレクリエーション傷害保険について

保険担当理事 布目 均

1、自然観察会のレクリエーション保険の主旨

自然観察指導員は、NACS-J の「自然観察指導員災害保障制度」で、活動中の傷害事故に対し保障がされる仕組みができています。しかし、自然観察会参加者はこの制度の対象とはなっていません。観察会ごとに対応することとなりますが、事務手続きが大変です。そこで、県協議会では次のようなレクリエーション傷害保険を包括契約しています。事務が比較的簡素化されて、万が一の事故に備えることができますので、ご利用ください。

2、県協議会の自然観察会のレクリエーション傷害保険 昨年度と事務手続きは同じですが、本年度から、県協議会の補助はなくなりました。また、保険金額の見直しを行い1日1人あたりの保険料は40円となります。

3、保険の内容

- ◇保険種類 普通傷害保険（行事参加者の傷害危険担保特約付普通傷害保険）
- ◇契約方式 レクリエーション傷害保険（行事種目 自然観察会およびクラフト教室など）
- ◇保険金額 死亡・後遺障害 1人690万円、入院 日額5千円、通院 日額3千円
- ◇保険期間 平成21年4月1日～平成22年3月1日（1年間）
- ◇精算方式 包括契約・毎月報告一括精算
- ◇被保険者 県協議会が実施する自然観察会およびクラフト教室などの参加者で名簿記載の者。

4、保険の範囲 自然観察会に参加するため、所定の場所に集合し、参加者名簿記載から所定の解散地で解散するまでの責任者の管理下にある間

5、保険の対象者 自然観察会の一般の参加者としませんが、指導員を含めても差し支えありません。含める場合、参加者名簿（保険対象）に加えて、毎月報告をお願いします。参加者名簿は、事故があった場合提出することになります。少なくとも、氏名と住所と電話番号を書いてください。

6、対象となる事故 保険の対象は「自然観察会およびクラフト教室などの傷害」です。有毒植物の誤飲、鋸・鎌を使つての作業や山岳登はんて起こった事故は、この保険の対象外です。また、熱中症など病気と思われるものも対象外です。不明な点は、保険担当までご相談ください。

7、参加者数の報告と精算 毎月、保険対象参加者数を、翌月10日までに、E-Mail またはFAXでご連絡ください。保険対象外の指導員の数は、備考欄へ記入ください。4月から来年3月までの保険対象参加者数が確定後、@40円×人数分の保険料を郵便振替口座 00820-9-6546（愛知県自然観察指導員連絡協議会）にお振込みください。

連絡先 保険担当理事 布目 均 E-Mail n-1104@yk.commufa.jp Tel&Fax 052-771-0396

8、事故の場合の事務・事故が起きた場合

- ・翌日までに布目まで、状況をお知らせください。

ケガをされた方（受傷者）の氏名、住所、電話番号、日中の連絡先、生年月日、性別
事故発生日時、発生場所、負傷部位など

- ・布目と連絡がとれない場合、下記保険代理店へ連絡し、後日、布目までお知らせください。

保険代理店 ㈱ポッカオフィスブレイン Tel 052-252-7331

- ・ケガをされた方が観察会の参加者である当日の参加者名簿を提出ください。
- ・保険金は、治療終了後、受傷者が所定の用紙で申告すると、指定の口座に振込まれます。健康保険等は使用した方が有利です。

※保険金が出るとしても、被害者への対応は誠意を持って適切に行ってください。

奥三河支部

奥三河支部 小山 舜二

日時：平成21年1月25日

場所：新城観光ホテル

平成21年度総会が1月25日、新城観光ホテルにて、会員14名の出席で開催されました。

総会では、20年度事業報告、会計報告、21年度事業計画等の議題を審議しました。昨年度、「地域を知るために地域に根付いた観察会として『桜淵自然観察会』を3回シリーズで開催し、参加した市民にも新たな発掘の場となり好評であった。また、会員それぞれも得意分野で取り組むなど、観察指導員としての指導力のレベルアップにも繋がった。」と全員が評価しました。21年度も同様な取り組みとして「県民の森」を舞台に2回シリーズで行うことに決まりました。

① あいちの自然観察会 「新緑の茶臼山」 5月9日(土) 10時～15時

② 支部観察会

第1回 「夏の県民の森を観察しよう」 8月8日(土) 9時30分～12時

第2回 「秋の県民の森を観察しよう」 10月25日(日) 9時30分～12時

③ 支部研修会 「秋の弁当山公園」 11月15日(日) 10時～15時

総会終了後の懇親会では、鴨鍋を囲み鳥の話や観察地の特徴など、和気藹々のひとときを過ごしました。なお、新年度の役員は昨年と同様のメンバーです。

支部長：小山舜二 副支部長：村上和彦 庶務・会計(事務局)：山田由乃

東三河支部

東三河支部 梶野 保光

日時：平成21年2月14日

場所：安達

NPO法人東三河自然観察会はさる2月14日、午後3時から豊橋市内の「安達」で第7期通常総会を開催した。会員総数90名のうち、総会出席者42名、書面委任者30名余りで岩崎員郎議長により議事進行された。平成20年度事業報告、収支会計報告が承認されたほか、21年度事業計画及び予算が審議された。

21年度事業計画の主なものは次のとおりである。環境省生物多様性保全事業として愛知県、豊橋市、愛知大学、NPO穂の国森づくりの会、豊橋うみがめクラブ、NPO東三河自然観察会を構成員とする東三河自然環境ネットが20年度に設立され、当法人は豊川の河畔林の生物多様性保全を担当することになっている。この事業は、定例自然観察会を通じて実施し、豊川市一宮町の豊川左岸「一宮憩いの広場」を会場とすることが決定された。その他、当法人の地域自然観察会、県営東三河ふるさと公園定例自然観察会や国土交通省豊橋河川事務所の干潟利用促進協議会による、豊川河口干潟の自然観察会などを審議し、原案どおり承認された。総会終了後、懇親会が開かれ、今年の研修旅行など楽しい話題で盛り上がった。



知 多 支 部

知多支部 竹内 秀代

日時：平成21年2月17日（土）9：30～12：30

場所：知多市勤労文化会館（知多市役所となり）

平成21年度の支部総会は、38名の会員が参加。出席者自己紹介のあと事業報告、県に関係した事業報告、知多半島10市町ごとの報告などが年報を見ながら各担当者から行われた。

その後、会計報告、役員や係の分担が決まり、次年度の事業計画が確認、報告された。

事業推進については、①研修の担当者から個人で研修・収集していることを気楽に発表し会員の関心の幅を広げたい。②年報の担当者から、COP10もあることなので、生物多様性保全を意識しながら取り組んではどうか。③里山クラブから、町からの補助金がカットされたが観察会形式で活動は続けていきたいといった提案があった。また、NPO化、30周年記念をどうするか、COP10への取り組み方をメリット、デメリットを考えながら検討する会（参加はだれでもOK）をこれから月に1回程度開催していくことを話し合い、確認された。話し合いのあとは米や麦のジュースを交えて昼食。しばらくすると部屋のあちこちで車座ができ、持ち寄った資料や種、情報の交換をする姿が見られた。今年度の役員は次のとおり。

代表：降幡光宏、 副代表：榊原靖（研修担当）、榊原正躬（年報・Web 担当）

庶務：南川睦夫（副代表兼務）、 会計：牧野靖子 調査担当：（未定）

名 古 屋 支 部

名古屋支部 滝田 久憲

日時：平成21年2月22日（日）14:00～16:30

場所：なごやボランティア・NPOセンター

支部長のあいさつの後、萩原さんを議長に選び、会員24名の参加と46名の委任状が確認され、総会の成立が宣言されました。最初に、平成20年度の事業報告がなされました。続いて、会計の収支報告と監査報告がなされ、共に承認されました。次に、平成21年度は役員の改選期に当たり、新体制が決められました。続いて、平成21年度の事業計画とその予算が提案され、承認されました。その際、名古屋支部が取り組んでいる環境サポーターに関する質問がありました。総会終了後、長谷川とし子さんによる環境紙芝居の朗読と佐藤国彦さんによる“愛知の森林”に関する解説がありました。

愛知県では、平成21年10月に指導員講習会が開催され、新しい仲間も増えます。また、平成22年10月には名古屋市で生物多様性に関わるCOP10が開催されます。そこで、これまでの支部の活動を充実させると共に、新しいエネルギーを取り込みながら、新たな課題に取り組む事が参加者の間で確認されました。

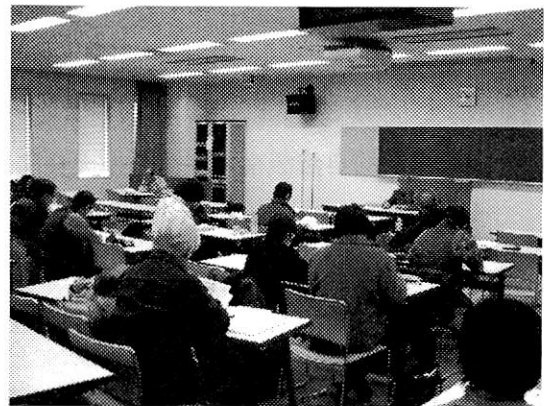
平成21年度新役員

支部長：滝田久憲

副支部長：定例自然観察会代表

事務局長：佐藤国彦

会計：中西倜夫



総会 & 講演会に参加して

＝ 科が同じなら、同じ味がする？！ ＝

知多支部 竹内 秀代

「あいち自然観察会」、これが3月20日(金・休)の総会出席者の多数決により愛知県自然観察指導員連絡協議会の略称になった。心機一転、新たな視点で観察会を、ということ(だと思ふ)で、今回は岐阜大学の川窪伸光先生のお話を聞くことができた。

講演の前に20種くらいの野菜や果物が1センチくらいの立方体に切ってあるものを1切れずつ持って行くようにという指示があり、???大会参加は初で、いささか緊張した。で講演が始まった。話の中では「五感を駆使して視点を変えながら観察会を行う」という、五感の中でも特に味覚に注目した実践があった。それが先の「切れっ端」である。野菜類を口の奥に入れ転がし、鼻に抜けるかすかな感じによって仲間分けをしようというのである。ナス、ゴボウはどう仲間分けしようか迷ったが、答えは明快。同じ科のものは同じ味がするというのである。だから、ナスとトマトは同じだし、ニンジンとセロリ、ゴボウとフキも同じ味がするというのである。この文を読んでウソと思う方は実行を。嚙まずに口の奥で転がす感じだ。決して飲みこんではいけない。これを観察会に生かすと、野外のどんな葉でも同じ科のものは同じ味がするから大体仲間分けができる、というものだった。(口の中に入れたものを飲み込まなければ大丈夫)新しい視点が一つ増えた気がした。

他にも昆虫の動きや植物の変化をデジカメで追いつけて、高速度撮影をしたものを低速で再生させたり、その逆に一定時間おきに撮ったものを高速で再生させたりしている。そして、チョウの飛び方や植物の開花を動画にすることからの発見や撮影の苦労話も聞いた。肩ひじを張らない分かりやすい話に、私たち聴衆は身を乗り出して聞くことができ、楽しく有意義なひとときを過ごすことができた。

指導員の今までと これからを考える

＝ 第8回自然観察指導員全国大会開催 ＝

名古屋支部 近藤 記巳子

3/21(土)22(日)の両日、NACS-J主催「第8回自然観察指導員全国大会」が東京大学・弥生講堂で開催された。会場ロビーにはパネル展示、各種資料、当会の「協議会ニュース」をはじめ各地の機関紙が並べられていた。概要や基調講演のレポートは「自然保護」5・6月号で報告されるので、この紙面では交流を中心に紹介しよう。

大会の参加者は200名。最も遠方からの参加は熊本県の男性で、指導員登録して間もない指導員だった。愛知県からは私1名のみ。初参加で緊張ざみだったが、講習会・研修会でお世話になったNACS-J職員のみなさん、フォローアップ研修と一緒に学んだ他県の指導員の姿にほっとする。数年前、当会に所属した国安俊夫さんと再会。国安さんは「転勤が多く、そのつど各地の連絡会の立ち上げや組織づくりにかかわった」という発表をされた。名古屋在住の折には、編集委員として尽力していただいた。また、かつて関西ブロックと東海ブロックの合同交流会でお世話になった方々とも出会い、今後の活動・交流について話し合いの場を持つことができた。

大会は、自然観察指導員活動の面ばかりでなく、さまざまな人、団体との交流という面でもプラスになり意義深い。みなさんも、次回の全国大会へ是非どうぞ！

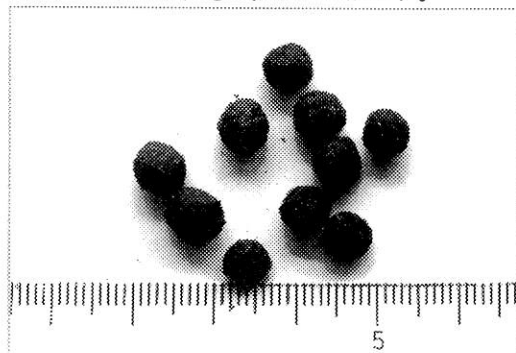
～東三河の野生哺乳類・その3～

ムササビ観察は感動もの！

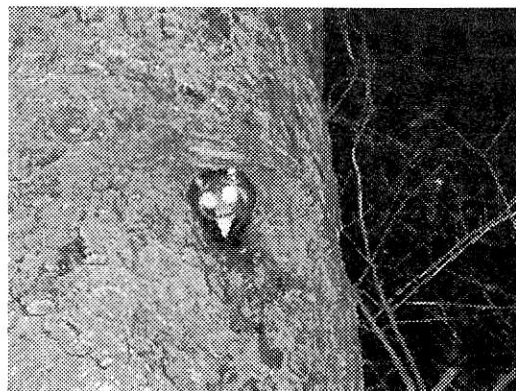
奥三河・東三河支部 神戸 敦

野生哺乳類で容易に観察できるのが、ムササビです。紙面の関係で簡単に観察のプロセスをご紹介します。

◆プロセスⅠ：昼間にムササビが棲む森であることを、次の事柄を調べて確認します。
①巣の確認、②巣材であるスギの皮はぎ痕、
③糞（下写真）、④食痕の4点です。



◆プロセスⅡ：巣の前で日没を待ちます。赤セロファンを被せた懐中電灯で巣を照らし、ムササビを確認します。巣から顔をだすと懐中電灯の光を反射し二つの目が光ります（下写真）。感動の瞬間です。時にはギュルギュル、グ〜といった鳴き声も聞くことができます。



◆プロセスⅢ：巣内で動きが激しくなります。移動の方向や距離を確認したムササビ



は滑空します（上写真）。これまた感動です。

◆プロセスⅣ：近くの木につきます（下写真）。足元に気をつけながら追いかけて、懐中電灯で個体を確認します。その辺りで、ムササビは糞をします。糞が葉に当たるパラパラという音がしますので分かります。



◆プロセスⅤ：さらに餌場の森へ滑空し木の葉や実を食べます。ここまで観察できれば、十分です。

観察を通じて、巣をつくる木、巣材の木、餌になる木などムササビと植物とのつながりや、彼らが棲むのに適した森とはどのような森かとか、天敵はどんな動物かなど、生態系の観点で彼らの生息環境を考えさせられ、結構奥の深い観察です。

第1回理事会

日時：平成21年3月20日（金）10:00-12:00

場所：なごやボランティアNPOセンター

出席者：松尾、降幡、浅井、石田、近藤、齋竹、永田、布目、吉川、吉田、滝田、樋口、三田、小山

議事

- 1 平成21年度予算について確認を行った。
 - 調査については、決まったテーマの調査予定はないが、予算措置はしておく。
 - 保険はこれまでと内容を変更する。
- 2 9月23日（水曜・祝日）の理事会は13:00～15:00に知多支部で開催し、指導員講習会の打合せを実施する。

12月23日（水曜・祝日）の理事会は、13:00～15:00に西三河支部で開催し、今年度の「あいちの観察会」、研修会、「協議会の日」の報告と反省を行う。

2月12日（木曜・祝日）の理事会は13:00～16:00に名古屋支部で開催し、平成22年度の通常総会の議案書の作成を行う。
- 3 11月29日の「協議会の日」（日）は東三河支部に会場を確保していただく。午前中にフィールドワークを行い、午後から交流会にしてはどうかという意見が出された。
- 4 30周年記念事業として、協議会で実施している観察会のガイドマップのようなものを作成してはどうかという提案があった。
- 5 生物多様性条約市民ネットワークに協議会として加入登録した旨報告があり、了承された。

本年10月にプレ行事が実施されるので、そこに参加していくこととした。
- 6 機関誌については年4回（No.124～127）発行することとし、企画案が紹介された。

（記録：浅井）

今年度の役員・理事

改選の時期ではありませんので、昨年度と同様です。

会長：松尾初	副会長：降幡光宏
事務局：浅井聡司	会計：石田晴子
理事（編集）：齋竹善行	理事（HP）：永田孝
理事（研修）：大谷敏和	理事（観察会）：山田博一
理事（調査）：吉田彰	理事（保全）：近藤記巳子
理事（名簿管理）：吉川洋行	理事（保険）：布目均
理事：高橋康夫	監事：榊原靖、山下眞志
理事（支部長）：滝田久憲、樋口祐子、降幡光宏、三田孝、梶野保光、小山舜二	

平成 21 年度の通常総会も無事に終わり、5 月から「あいちの自然観察会」や研修会が始まります。事務局として各支部におじゃましますので、その折はよろしくをお願いします。

■指導員講習会

講習会の日程は 10 月 16 日～18 日で、受講者の募集は 9 月 3 日～21 日です。各支部で受講していただきたい人に勧めておいてください。地元講師のご推薦もお願いしたいと思っておりますので、各支部長さんよろしくをお願いします。

■CBD 市民ネット

協議会は CBD 市民ネット（生物多様性条約市民ネットワーク）に参加しています。CBD 市民ネットの事務局からお手伝いの方を 1 名選出していただきたいとの要請を受けています。関心のある方はぜひ事務局までご連絡ください。

■協議会の日

11 月 29 日に新指導員を歓迎する行事を行う「協議会の日」が設定されています。場所は東三河を予定しています。

有意義な時間が持てるよう、企画運営に携わっていただける方を募集いたしますので、事務局までご連絡ください。

■30 周年事業

協議会は 1981 年（昭和 56 年）5 月 10 日に発足しており、来年度 30 周年を迎えます。協議会の節目にあたり、記念事業を行なうこととしており、実行委員会を立ち上げたいと思っておりますので、ご協力をお願いします。

協議会はみなさまの総意によって成り立っています。一人一人が自然と関わり、会の一翼を担ってくださることを望みます。

■会員情報

○新会員紹介＝ご活躍を期待します＝

鈴木絹子さん（名古屋支部）

名古屋市港区 在住

太田勝子さん（名古屋支部）

名古屋市瑞穂区 在住

鬼頭加代子さん（名古屋支部）

名古屋市天白区 在住

川野宏さん（名古屋支部）

名古屋市守山区 在住

○訃報＝ご冥福をお祈りします＝

熊谷尚久さん（奥三河支部）

平成 21 年 3 月 19 日ご逝去

○支部別の会員数

（単位：人）

支部	普通	家族	合計
名古屋	91	4	95
尾張	75		75
知多	59		59
西三河	52	1	53
東三河	58	1	59
奥三河	14		14
未所属	4		4
合計	353	6	359

備考：複数の支部に加入されている会員は、協議会費を支払っている支部に計上して処理した数字です。

◎転居等の連絡はすみやかに

協議会ニュースは宅配便を使ってお届けしています。郵送と違い、転送ができませんので、引越しされる場合は速やかに連絡をお願いします。

また、本年度は秋の指導員講習会を受講した入会員を迎えますので、会員名簿を作成します。婚姻などで姓が変わった方もお知らせください。

連絡は事務局又は名簿管理担当の吉川理事までお願いします。

◎会費の納入を忘れていませんか

協議会の会費は今年度から年 2000 円になりました。お支払いを忘れていた方は、各支部の会計までお願いします。

行事案内

p4に「あいちの自然観察会」と「研修会」の予定を載せましたのでご覧ください。

編集部からのお知らせ・お願い

■ 協議会ニュースの発行回数が変わります。

これまで奇数月に発行してきましたが、今年度から原則として年4回（3月、5月、8月、12月を予定）の発行になります。掲載する原稿は、原則として発行月の前月の15日を目標に提出をお願いします。

行事案内などうまくタイミングが合わない場合も生じるかと思いますが、協議会や各支部のHP（URLは下記）で確認するなどの工夫をお願いしたいと思います。

協議会	http://naichi.net/
名古屋支部	http://cecile.gr.jp/nagoya_sizen/
尾張支部	http://www.geocities.jp/symbio721/
知多支部	http://chitakan.com/
西三河支部	http://www.nishimikawa.com/
東三河支部	http://www5c.biglobe.ne.jp/~kajino/
奥三河支部	http://www.naichi.net/okumikawa09.pdf

■ 協議会ニュースの用紙サイズはB5とA4のどちらがよろしいですか。

総会後の意見交換で、協議会ニュースはB5判で作成してきましたが、最近では公文書など多くの印刷物がA4判で作成されるようになったので、A4判に変更できないかとのご意見をいただきました。事務局と編集部で検討することになりましたが、会員のみなさん、いずれのサイズがよいかが意見をお聞かせください。

■ 協議会ニュースの表紙のイラストは今年度は知多支部の山田絹子さんが描かれていますが、来年度担当してくださる方を探しています。自薦でも他薦でも結構ですが、編集担当までお知らせください。

■ 3月号（No.123）の一部に誤りがありましたので、訂正をお願いします。

P8「会員のページ」の「ニューカレドニアの自然を感じて（その2）」の本文の1行目にある「スギ科」を「ナンヨウスギ科」に、最初の写真の説明の「ナンヨウアロウカリヤの枝」を「アロウカリヤの枝」に訂正してください。

編集スタッフ

岡田 雅子 近藤 記巳子
齋竹 善行 酒井 勇治
永田 孝 山口 健

発送スタッフ

岩沙 雅代 横井 邦子

協議会ニュース編集部

〒482-0007

岩倉市大山寺元町12-3

齋竹 善行

メール：BZA03620.nifty.ne.jp

■ 愛知県自然観察指導員連絡協議会（あいち自然観察会）事務局（当面）

〒486-0904 春日井市宮町3-6-2

松尾 初

Tel 0568-32-5069

■ Web Page：<http://naichi.net/>

■ 郵便振替口座：00820-9-6546（名義：愛知県自然観察指導員連絡協議会）